

2021 年度 社会福祉法人 めやす箱 就労部門 事業報告

(1) 概要

法人理念を基に 2021 年度は、「利用者満足度の向上」、「就労能力及び工賃の向上」を部門目標に掲げ、部門職員一体となり事業運営に取り組んでいる。

昨年度に引き続き、コロナウィルスの影響により新たな作業種の確保は難しい状況ではあったが、少しずつ営業を重ね、平均工賃は 2020 年度 9,789 円から 2021 年度 11,089 円への増加に繋げることができている。制度としても高工賃を求める状況は変わっておらず、長期的に工賃向上が図れるよう計画、実施していく。

(2) 目標に対する取り組み

①利用者満足度の向上

満足度調査の結果については、各事業所で検討の後、部門全体で協議の場を設け、改善に取り組んでいる。2021 年度の調査結果からは「行事」に関する項目が課題として挙げられる。

コロナウィルスの影響により外出行事が実施できない等、行事の幅を広げることが難しい状況が続いている。また、就労を目的とした行事となる為、実施できる項目も限られていることから、2021 年度までは行事を縮小する方向性で進めていたが、行事の充実に関して要望が多く、2022 年度は可能な限りニーズに沿った行事を実施していく方向性であることを利用者・家族に説明している。

②就労能力及び工賃の向上

2021 年度は高工賃作業の確保、利用者個々の能力向上を主体として進めている。コロナウィルスの影響で新たな作業開拓は難攻したものの、結果としては新たな施設外作業種を多く確保できている。利用者の能力向上に関しても、現場職員によるアセスメント強化を進め、現場レベルで課題抽出、取り組み内容が検討できる体制に近づいており、取り組みの円滑化、具体性の向上により個別支援強化に繋げることができている。まだ経過段階であり、継続的に取り組んでいく必要がある。

(3) 年間活動内容

4 月	部門会議
5 月	部門会議、部門勉強会「事業所見学」
6 月	部門会議
7 月	部門会議
8 月	部門会議、ニーズ調査
9 月	部門会議、部門勉強会「事業所見学」

10 月	部門会議
11 月	部門会議、部門勉強会
12 月	部門会議、部門勉強会「トークスクリプト」
1 月	部門会議、部門勉強会「営業方法」
2 月	部門会議
3 月	部門会議、部門通信 VOL1 発行

(4) 今後の課題

事業収支に関しては、概ね予算通りの結果となっているものの、稼働率は伸び悩んでおり、今後の収益減少が懸念される。特に就労継続支援B型の集客が伸びておらず、管理者の営業力に課題を感じている。2021年度までは工賃向上を主体として進めており、一定の結果に繋げることができた為、2022年度からは稼働率、営業に焦点を当て、部門全体として結果に繋げられるよう取り組んでいく。

就労センターかなでの賃貸物件に関して、法人の方向性である自社物件化に向けて準備を進めていく。現行40名定員（就労継続支援B型・就労移行支援・自立訓練）から、「就労継続支援B型20名」、「就労移行(10名)・自立訓練(10名)計20名」、2事業所への事業分離を行い、それぞれがサービス種に応じた専門性を発揮できるよう体制を整えていく。2023年度には分離できるよう準備を進めていく。

車両事故に関して、部門全体で5件の事故が発生している。事故内容は共通してヒューマンエラーであり、乗車前の確認不足により事故が発生しているケースが多い。部門の課題として2023年度は具体的に改善方法を提示し、事故減少に向けて取り組んでいく。

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「利用者満足度の向上」
- ② 「就労能力及び工賃の向上」

上記2つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行ないました。

① 利用者の満足度の向上について

2020年度満足度調査における要望の具現化については、「工賃向上」について重点的に取り組みました。自社製品については、感染症等で外部での販売機会が大きく制限されましたが、その状況下で可能な限り販路拡大を行ない、自社製品の売り上げの安定、向上を図ってきました。また、農福連携の取り組みとして、地域の農家より季節に応じた作業を受注し、工賃の向上に繋がられています。企業からの委託作業については、毎月の目標金額を設定・達成させていくことで安定して工賃向上を図っていくことが出来るよう取り組んできました。

② 就労能力及び工賃の向上

利用者の就労能力の向上については、日々の仕上がり数を向上させられるよう環境整備や、効率的な作業方法を提示していくことで、ご利用者の就労能力の向上を図る事が出来ました。ご利用者に合わせた支援方法を確立する為に、職員会議のケース会議にて議論を行ない、ご利用者一人ひとりの意向・目標に沿ったサービスの提供が出来ました。ご利用者の工賃判定を事業所職員にも取り組んでいただくことで、ご利用者を幅広く作業に参加する機会を設けるための検討機会や、作業支援のための専門性向上に繋げることが出来ました。

次年度も、より良いサービス提供ができるように、職員一丸となり、向上心を持って安定した事業運営を目指して取り組んで参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (定員20名) (単位:名)

	令和3年										令和4年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	473	425	468	468	433	449	461	445	452	457	400	481	5412	

(2) 利用(開所)状況 (単位:日)

		令和 3年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和 4年 1月	2月	3月	合計
開始 時間	9:00	22	21	22	23	21	22	23	22	22	22	20	23	263
終了 時間	15:00													

(3) 職員の状況 (2022年3月31日現在) (単位:名)

区分	管理者	サービス 管理責任者	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1	(1)	1	1	5
非常勤職員			1	1	

※管理者・サビ管兼務

(4) 職員の勤務体制 (2022年3月31日現在)

A勤:7:30~16:30 8時間(60分休憩)

B勤:8:00~17:00 8時間(60分休憩)

C勤:8:45~17:00 7.5時間(45分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
12月	忘年会で会食。いっぱいっぽにて実施。

4. 施設整備

① 車両購入 2021年4月26日

(事業収支について)

事業の収支について			
収支内訳(資金内訳)		支出内訳(事業費内訳)	
項目	金額(円)	項目	金額(円)
自己資金	740,000	車両運搬具取得支出	740,000
計	740,000	計	740,000

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「利用者満足度調査における要望の具現化」
- ② 「就労支援における専門性の向上」

上記2つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 利用者満足度調査における要望の具現化

昨年度のサービス満足度調査結果から「行事活動の充実」、「作業内容及び作業工賃の向上」が課題として挙がっていました。コロナ禍が続く中感染対策を徹底し、ご利用者の余暇の充実、社会性の向上に繋がるよう、創意工夫を凝らした行事及び活動を実施しました。結果、利用者の笑顔や保護者からの満足の声を多数聞くことができました。又、作業内容について新たにアパートの清掃作業、中古車販売店の洗車作業を取り入れ、ステップアップや工賃アップを希望されるご利用者に対し、事業所外での作業を提供しました。ステップアップを将来的に希望される方に対しては、イメージが持てるよう法人内の就労移行支援事業所の見学や求職活動体験、就労継続支援A型事業所の見学の機会を持っています。

② 就労支援における専門性の向上

毎月の職員会議の中で、自閉症スペクトラムや統合失調症等ご利用者の疾病、障害に焦点を当て、基礎知識から対応方法等理解を深めています。又SSTやリフレーミングといった支援技法についてもグループワークやロールプレイを行い、職員一人一人の支援力を高めるよう取り組みました。更に、アセスメントシートや工賃判定表について皆で議論と共有を重ねることで、評価視点の統一やアセスメント力の底上げを図っています。結果、多くのご利用者の作業機会が増え、スキルアップや工賃アップにも繋がりました。

次年度も、より良いサービス提供が出来るように、職員一丸となり、向上心を持って安定した事業運営を目指して取り組んで参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (定員 20名) (単位:名)

	2021年												2022年	合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	464	430	479	480	419	450	457	434	442	411	404	487	5357	

(2) 日中一時支援事業 実人数 (定員5名) (単位:名)

	2021年										2022年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	27	19	23	22	20	23	22	16	19	19	19	21	250	

(3) 利用(開所)状況 (単位:日)

		2021年										2022年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開始時間	9:00	22	21	22	23	21	22	23	22	22	22	20	23	263	
終了時間	15:30														

(4) 職員の状況 (2022年3月31日現在) (単位:名)

	管理者	サービス管理責任者	目標工賃達成指導員	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1	(1)	1	1	1	5
非常勤職員				1		

※管理者・サビ管兼務

(5) 職員の勤務体制 (2022年3月31日現在)

A勤: 8:00~17:00 8時間(60分休憩)

B勤: 9:30~15:30 5.5時間(30分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
8月	納涼祭。事業所内にて、ビンゴゲーム、買い物体験、盆踊りを実施する。
10月	商品作り体験。事業所内にて、スイーツポテトと蒸しパンの調理を行う。
12月	クリスマスツリー製作。事業所内にて、ツリーの製作活動を実施する。
1月	初詣。近隣の神社へ歩いて初詣に行く。
2月	ひな祭り。事業所内にて、手巻き寿司の調理と雛人形作りを実施する。

4. 施設整備

① サイクルポート設置 2021年11月29日

(事業収支について)

事業の収支について			
収支内訳(資金内訳)		支出内訳(事業費内訳)	
項目	金額(円)	項目	金額(円)
自己資金	157,300	その他の取得支出	157,300
計	157,300	計	157,300

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「利用者満足度の向上」
- ② 「就労能力及び工賃の向上」

上記2つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 利用者の満足度の向上について

満足度調査における改善項目に対し、事業所で協議の後、利用者、ご家族に返答、対応を行っている。特に、「行事」「工賃」に関しての項目に対してご意見が多く、継続的な改善への取り組みが必要と感じられる。行事に関しては、2022年度の行事内容を大幅改定し、コロナ禍でも対応可能で、ニーズに沿ったサービスが提供できるよう計画、情報提示を行っている。

② 就労能力及び工賃の向上

高工賃の作業確保、事業所内作業の安定、効率化に向けて取り組みを行いました。高工賃の作業に関しては施設外作業を2業種追加できており、自社製品の販路拡大にも取り組むことができています。事業所内作業に関しては、利用者個々の能力向上を主体とし、新たな作業種や作業工程への取り組み増加を促すことで、作業の幅の拡大を図ることができています。

次年度も、より良いサービス提供が出来るように、職員一丸となり、向上心を持って安定した事業運営を目指して取り組んで参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (定員20名) (単位:名)

	2021年									2022年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
実績数	489	417	487	490	450	487	494	478	476	459	418	487	5632

(2) 利用(開所)状況 (単位:日)

	2021年									2021年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開始時間	9:00												
終了時間	15:00	22	21	22	23	21	22	23	22	22	20	23	263

(3) 職員の状況 (2022年3月31日現在) (単位:名)

	管理者		サービス 管理責任者	目標工賃 達成指導員	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1		1		1	2	6
非常勤職員				2	1		

※管理者・サビ管兼務 ※目標工賃達成指導員・職業指導員1名兼務

(4) 職員の勤務体制 (2022年3月31日現在)

A勤: 7:30~16:30 8時間 (60分休憩)

B勤: 7:45~16:45 8時間 (60分休憩)

C勤: 8:00~17:00 8時間 (60分休憩)

D勤: 8:15~17:15 8時間 (60分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
7月	七夕会: 創作活動
8月	夏祭り
11月	秋の散策
12月	クリスマス会
1月	新年会

4. 施設整備

① 車両購入 2022年1月15日

(事業収支について)

事業の収支について			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	688,550	車両運搬具取得支出	688,550
計	688,550	計	688,550

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「利用者満足度の向上」
- ② 「就労能力及び工賃の向上」

上記2つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 利用者の満足度の向上について

利用者満足度の向上については、サービス満足度調査に挙げた意見要望に対して、迅速に職員間で話し合い、具体的な改善まで行いました。また、利用者の個別かつ多様なニーズに応えられるように、アセスメントや面談の機会を設け、ご利用者の主訴を傾聴しながら支援を行いました。新型コロナウイルスの影響もあり、保護者と対面での面談が難しかった際は電話にて情報交換を行い、より良い支援の実施に向けて取り組みました。

② 就労能力及び工賃の向上

「利用者のステップアップ」に向け、就労に特化した支援が行えるように、外部研修、事業所内での勉強会、法人研修への参加をはじめとし、職員個々に必要なスキルについての研修会へ積極的な参加を行いました。A型は損益分岐点を見極め作業種の精査を行いました。人件費や経費を算出し利益が出る作業のみを受けることや、見積りの段階でどれだけ利益が出せるかを計算する事で、仕事を受けるか断るか、または単価交渉をしていくのかを徹底しました。また、利用者の特性を考え、極力得意な作業を任せることで効率化を図りました。取り組みの成果として、今年度もA型利用者の給料を作業収入で支払うことができました。B型については、前年度は平均工賃月額が13,000円でしたが、高単価の内職に優先的に取り組み、今年度は20,000円を上回る結果となりました。

次年度も、より良いサービス提供が出来るように、職員一丸となり、向上心を持って安定した事業運営を目指して取り組んで参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援A型 実人数 (定員10名) (単位:名)

	令和3年										令和4年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	196	185	217	220	196	216	235	206	209	198	185	209	2,472	

(2) 就労継続支援A型 利用(開所)状況 (単位:日)

		令和 3年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和 4年 1月	2月	3月	合計
開始 時間	A勤 … 9:00 B勤 … 10:30	22	21	22	23	21	22	23	22	22	22	20	23	263
終了 時間	A勤 … 16:00 B勤 … 17:30													

(3) 就労継続支援B型 実人数(定員10名) (単位:名)

	令和 3年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和 4年 1月	2月	3月	合計
実績数	120	127	142	148	137	149	185	170	156	148	142	174	1,798

(4) 就労継続支援B型 利用(開所)状況 (単位:日)

		令和 3年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和 4年 1月	2月	3月	合計
開始 時間	9:00	22	21	22	23	21	22	23	22	22	22	20	23	263
終了 時間	15:00													

(5) 職員の状況 (2022年3月31日現在) (単位:名)

区分	管理者兼 サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	目標工賃 達成指導員	合計
常勤職員	1	1	1	1	7
非常勤職員		1	2		

※管理者・サビ管兼務

(6) 職員の勤務体制 (令和4年3月31日現在)

- A勤: 8:30~17:30 8時間 (60分休憩)
 B勤: 9:45~16:15 5.75時間 (45分休憩)
 C勤: 9:00~15:15 5.5時間 (45分休憩)
 D勤: 9:00~15:45 6時間 (45分休憩)
 E勤: 10:00~16:15 5.5時間 (45分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
1月	新年会 : 事業所内にてレクリエーション・茶話会

4. 施設整備 施設整備なし

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「利用者満足度の向」
- ② 「就労能力及び工賃の向上」

上記2つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 利用者満足度の向上について

ご利用者への支援、接遇に関する知識や技術の向上を目指し、職員会議や朝終礼において、学ぶ時間を設けました。特に社会人としてのルールが徹底できるよう、職員個々の意識改善や全体の周知徹底を図りました。ご利用者や家族のご意見に傾聴し、事業所の課題として真摯に向き合い、丁寧な支援を心がけてきました。しかし前年度と比較して作業内容や工賃、余暇の項目に「いいえ」が増えたため、次年度は企業間との調整や高単価の作業を優先に取り組みつつ、ご利用者一人ひとりの目標が達成できるようより良い支援を実践していきます。

- ② 就労能力及び工賃の向上については、毎月の職員会議で、障害特性や就労支援について、学べる機会やケース会議を実施しました。その中で利用者個々に必要な就労に特化した支援について話し合いました。また今年度は施設外作業や畑作業等と、様々な作業にチャレンジする機会を設けました。ご利用者の特性を生かした制作物の販売といった新たな取り組みを実施し、地域との繋がりやご利用者の新たな可能性を広げる機会となりました。目標としていた平均工賃13,000円に達成できませんでしたが、昨年度と比較し平均工賃を500円以上アップさせることが出来ました。

次年度も、より良いサービス提供が出来るように、職員一丸となり、向上心を持って安定した事業運営を目指して取り組んでまいります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (定員20名) (単位:名)

	2021年									2022年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
実績数	422	397	419	429	398	420	405	404	408	401	373	433	4,909

(2) 利用(開所)状況 (単位:日)

		2021年									2022年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開始時間	9:00	22	21	22	23	21	22	23	22	22	22	20	23	263
終了時間	15:00													

(3) 職員の状況 (2022年3月31日現在) (単位:名)

	管理者 サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1	2		6
非常勤職員		1	2	

(4) 職員の勤務体制 (2022年3月31日現在)

A勤: 8:00~17:00 8時間 (60分休憩)

B勤: 7:30~16:30 8時間 (60分休憩)

C勤: 8:00~16:00 7時間 (60分休憩)

D勤: 9:00~15:00 5.5時間 (30分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	春の行事。親睦会として外部で注文した弁当を食べた。
8月	夏の行事。1階・2階に分かれてゲームを実施し、外部で注文した弁当を食べた。
10月	秋の行事。1階・2階に分かれてゲームやDVD鑑賞を行い、外部で注文した弁当を食べた。
11月	サツマイモ収穫。希望者を募り、午前・午後に分かれて収穫を行った。
12月	冬の行事。外部で注文した弁当を食べた。午後は大掃除を行った。

4. 施設整備 なし

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
実績数	240	215	223	230	195	175	166	164	163	153	139	165	2228

自立訓練（生活訓練） 実人数（定員8名） （単位：名）

	2021年										2022年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	164	115	136	125	121	117	120	120	114	113	107	129	1481	

(2) 利用（開所）状況 （単位：日）

		2021年									2022年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開始時間	9:15													
終了時間	15:30	22	21	22	23	21	22	23	22	22	22	20	23	263

(3) 職員の状況（2022年3月31日現在） （単位：名）

区分	管理者兼 サービス管理責任者	職業指導員	生活支援員	就労支援員	合計
常勤職員	1	1	2	0	4
非常勤職員		1	5	1	7

(4) 職員の勤務体制（2022年3月31日現在）

- A勤：7：45～16：45 8時間（60分休憩）
- B勤：8：00～17：00 8時間（60分休憩）
- C勤：9：15～15：00 5.75時間（休憩なし）
- D勤：9：45～15：30 5.75時間（休憩なし）

3. 主な年間行事

実施月	実施行事
4月	春のお楽しみ会。昼食をほっかほか弁当に発注。母の日に向けたメッセージカード作り。
7月	夏のお楽しみ会。調理活動（押し寿司）
12月	冬のお楽しみ会。制作活動。

4. 施設整備

①車両購入

(事業収支について)

事業の収支について			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	650,000	車両運搬具取得支出	650,000
計	650,000	計	650,000

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「利用者満足度の向上」
- ② 「就労能力及び工賃の向上」

上記2つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 利用者の満足度の向上について

利用者満足度の向上については、サービス満足度調査に挙げた意見要望に対して、迅速に職員間で話し合い、具体的な改善まで行いました。また、利用者の個別的かつ多様なニーズに応えられるように、アセスメントや面談の機会を設け、ご利用者の主訴を傾聴しながら支援を行いました。

「工賃向上」に関しては、企業訪問や電話連絡を行い、ご利用者の能力や取り組める仕事について企業側の理解を図ることで、新規作業の開拓を行いました。施設外作業の継続と、企業との信頼関係の構築を図り、高賃金の作業を確保することで、利用者の作業に対する意識が向上し、一般就労等ステップアップに繋げていけるように、就労支援を行いました。

② 就労能力及び工賃の向上

「利用者の一般就労へのステップアップ」に向け、就労に特化した支援が行えるように、外部研修、事業所内での勉強会、法人研修への参加をはじめとし、職員個々に必要なスキルについての研修会へ積極的な参加を行いました。就労に必要な社会性を養うために、一般常識、倫理について学び、職員間で注意し合える環境づくりを行いました。企業開拓、営業、交渉能力の向上を目指すために、行政職員と企業訪問へ同行し、学べる機会を作りました。工賃向上や就労能力の向上を目的として、アパート清掃や洗車、農耕作業といった多くの施設外作業を受けました。スキルアップや一般就職へのステップアップなど、ご利用者一人一人の目標達成に向けて作業改革を推進して参りました。

次年度も、より良いサービス提供が出来るように、職員一丸となり、向上心を持って安定した事業運営を目指して取り組んで参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (定員 20名) (単位:名)

	2021年										2022年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
実績数	450	414	452	422	405	362	410	395	412	372	344	390	4828	

(2) 利用(開所)状況 (単位:日)

		2021年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年 1月	2月	3月	合計
開始時間	9:00	22	21	22	23	21	22	23	22	22	22	20	23	263
終了時間	15:00													

(3) 職員の状況 (2022年3月31日現在) (単位:名)

	管理者	サービス 管理責任者	目標工賃 達成指導員	職業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1	(1)	1	1	1	7
非常勤職員				2	1	

※管理者・サビ管兼務

(4) 職員の勤務体制 (2022年3月31日現在)

A勤: 8:00~17:00 8時間(60分休憩)

B勤: 7:45~16:45 8時間(60分休憩)

C勤: 10:00~15:30 5.5時間(休憩なし)

D勤: 9:00~14:30 5.0時間(30分休憩)

E勤: 9:00~16:00 6.0時間(60分休憩)

3. 主な年間行事

実施月	実施工事
4月	お花見会。事業所内で昼食、事業所周辺の散策を実施。
12月	大掃除、忘年会。午前中に事業所の大掃除を行い、午後からお楽しみ会を実施。

4. 施設整備

① 車両購入 2021年5月25日

(事業収支について)

事業の収支について			
収支内訳(資金内訳)		支出内訳(事業費内訳)	
項目	金額(円)	項目	金額(円)
自己資金	570,000	車両運搬具取得支出	570,000
計	570,000	計	570,000

② 車両購入 2021年6月15日

(事業収支について)

事業の収支について			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	500,000	車両運搬具取得支出	500,000
計	500,000	計	500,000